

第19回(2021年度)「高峰記念第一三共賞」の受賞者として、濱田博司博士(理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー)を選出しましたのでお知らせいたします。

受賞研究テーマ

「哺乳動物の胚発生の基本的な仕組みの研究」

濱田博士は岡山大学医学部を卒業、医学博士を取得後、東京大学助教授、東京都臨床医学総合研究所 部長、大阪大学教授を歴任され、2015年理化学研究所多細胞システム形成研究センター長、2018年には理化学研究所生命機能科学研究センター チームリーダーに就任。

濱田博士は、永年にわたり発生生物学、発生遺伝学の分野において世界をリードする研究業績を挙げてきた。特に、ES細胞の全能性維持に必要な転写因子 *Oct3/4* の発見、さらにマウス胚で左右非対称に発現する *Lefty* 等の分子を発見し、それまで全く未知であった体の左右非対称に関する研究分野を開拓し、その研究成果は生物学に新しい概念をもたらした。ヒトにおける左右異常は先天性心奇形の主要な原因であること、また、織毛病の解明にも寄与し、基礎生物学だけでなく医学にも大きなインパクトを与え、現在も活発な研究活動を行っている。

(所属機関・役職)

国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー

(主な略歴)

1975年03月 岡山大学 医学部卒業
1979年03月 岡山大学大学院 医学系研究科博士課程修了
1979年10月 米国 国立衛生研究所・癌研究所 Visiting Associate
1985年01月 カナダ ニューファンドランド・メモリアル大学医学部 Assistant Professor
1988年04月 東京大学医学部生化学教室 助教授
1993年04月 東京都立臨床医学総合研究所 化学療法部・部長
1995年04月 大阪大学細胞生体工学センター 教授
2002年04月 大阪大学大学院生命機能研究科 教授
2015年10月 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター長
2018年04月 理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー

(主な受賞歴)

2012年 内藤記念科学振興賞
2014年 紫綬褒章
2014年 慶應医学賞
2017年 東レ科学賞
2020年 兵庫県科学賞